



視能訓練士

どんな仕事？

目の検査のほか、病気の早期発見も

①医師の診断のためのさまざまな検査（視力、視野、屈折、眼圧など）②斜視・弱視などに対する視機能回復を目的とした矯正訓練 ③視覚に障害を持つ人の現在の視機能を最大限に活用して、生活の質のレベルを維持するロービジョンケアなどを担います。また、④乳幼児健診、学校健診、職場健診などで病気の早期発見・予防にも貢献しています。

どこで働く？

病院だけでなく、企業や公的機関など

病院・
リハビリテーションセンター

医療機器・
医薬業関連企業

保健所・保健センター

など



大切な目を守るために、
検査や矯正訓練を行う

仕事の展開と将来の展望

注目されるロービジョンケアの担い手

高齢化や生活習慣の変化により、緑内障・糖尿病網膜症・加齢黄斑変性などに伴う視機能障害が増加し、ロービジョンケアが注目されています。現在は視能訓練士の大半が病院などに勤務していますが、今後は保健所や老人福祉センターでの活躍も期待されます。現在、眼科医14,000人に対し、視能訓練士は16,000人ほど。眼科医1人に対し視能訓練士は2~3人が必要と言われ、さらなる養成が望まれています。

OB
VOICE

責任の大きな仕事だからこそ、
仕事へのやりがい、
モチベーションになっています

視能訓練士は、視力検査、視野検査、眼圧検査など各種検査を行い、その結果を眼科医と相談して、治療方針に繋げていきます。私は、白内障患者様の術前検査や術後検査など、手術に関連する業務に多く携わっています。検査結果が、術後の目の見え方などに直結するため、責任感を持って、間違いないよう仕事に取り組んでいます。将来は、視能訓練士の資格や知識を生かして、自分が活躍できるフィールドを広げていきたいと考えています。



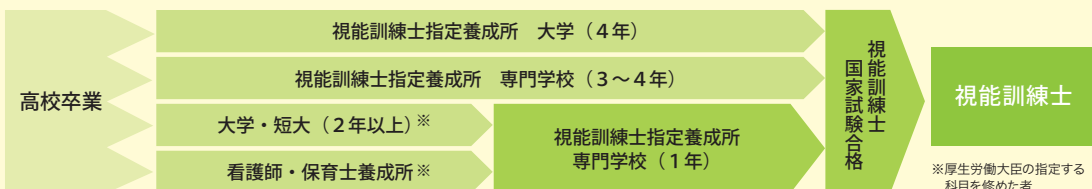
永瀬 馳規さん
山王病院アイセンター 勤務
保健医療学部
視機能療法学科 卒業

どうすればなれる？

- 視能訓練士国家試験に合格しなければなりません。

受験資格を得るには…

文部科学大臣指定の大学で4年間、必要な知識・技能を学び卒業する
厚生労働大臣指定の専門学校で3年以上、必要な知識・技能を学び卒業する
などの方法があります。



※厚生労働大臣の指定する
科目を修めた者